

2017年7月20日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で
脳腫瘍の手術を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の腫瘍組織標本と診療録の情報をを用いた研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

脳腫瘍におけるミニ染色体維持蛋白 MCM7 発現の意義に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 臨床研究管理センター
鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 臨床研究管理センター
特任助教 内田裕之

【研究の目的】

脳腫瘍において、MCM7 というタンパク質の発現の程度とその後の治療経過が関係するかどうかを調査することを目的としています。

【研究の方法】

免疫染色という方法を用いて MCM7 の発現の程度を調べ、再発の有無や再発までの期間との関係を統計学的に解析します。

【対象となる患者さん】

2000年4月1日から2016年6月30日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で脳腫瘍の手術を受け、神経膠腫（グリオーマ）あるいは下垂体腺腫あるいは髄膜腫と診断された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

過去に手術により採取された脳腫瘍組織と診療録の情報（氏名、性別、年齢、予後に関する情報）を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の特定の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 臨床研究管理センター

特任助教 内田裕之

電話 099-275-5375

FAX 099-265-4041